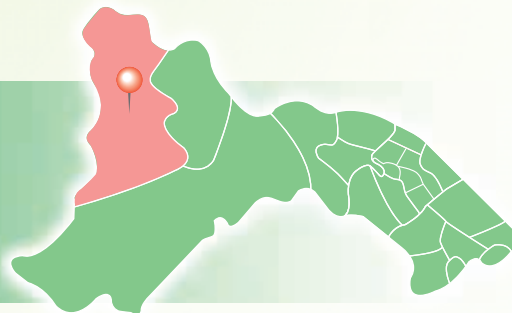


## 藤野地区自治会連合会

# 人と芸術と自然が 共生するまち



### ▶ 地区の紹介

藤野地区は、JR中央本線や中央自動車道が通り、都心から約1時間の距離にありながら、里山の風情を色濃く残す森と水と湖のまちです。

水源地域であるため、大規模な開発が抑えられてきたことから、豊かな自然や歴史的風土が、今も脈々と息づいています。

かつて藤野地区は、昭和30年の「昭和の大合併」で藤野町として生まれました。古くは甲州街道の宿場町として、参勤交代をはじめとする多くの旅人でのぎわい、養蚕や酪農、木炭などを中心とした農林業で栄えました。

また、太平洋戦争の末期、この地に疎開していた猪熊弦一郎や藤田嗣治など画壇に名を残す芸術家達が、将来ここに「芸術村」を創ろうと夢を膨らませていたそうです。



春の藤野



こうした歴史的背景もあり、当時の藤野町では、芸術を活かしたまちづくりを推進してきました。その一環として、「緑のラブレター」をはじめとする自然と調和したさまざまな作品が制作され、「芸術のまち」として知られるようになりました。また、地元産の「ゆず」を使った「ゆずの尊」、「ゆずワイン」等の特産品も有名です。



緑のラブレター

### ▶これまでのあゆみ

藤野地区自治会連合会は、相模原市との合併後、平成19年10月に「藤野町地区自治会連合会」として発足しました。

その後、平成22年4月の政令指定都市移行に伴い、「藤野地区自治会連合会」と名称を改め、防災・防犯活動や美化活動をはじめとし、地域住民の親睦と地域力の向上に寄与することを目的に、「健康フェスタふじの」を開催するなど、住みよいまちづくりに向けて取り組んでいます。

また、自治会への加入促進にも力を入れており、藤野ふる里まつりなどのイベントでは、自治会活動を紹介したパネルの展示や啓発物品の配布など、PR活動を行うとともに、地区内の全世帯に「藤野地区防災計画」の冊子や「黄色い小旗」を配布し、地域連携を図っています。



健康フェスタふじの



藤野ふる里まつり

## ▶これまでの主な出来事

平成22年度

藤野地区自治会連合会ごみ集積箱設置  
補助金交付規程の制定・施行

平成24年度

藤野地区連合自主防災組織の設立

平成28年度

藤野地区防災計画の全戸配布

平成29年度

災害時安否確認用黄色い小旗の全戸配布



黄色い小旗

## ▶主な年間行事

- ・健康フェスタふじの
- ・きれいなまちづくりの日キャンペーン
- ・藤野・相模湖地区自治会連合会合同会議
- ・先進地視察研修会
- ・藤野地区自治会連合会賀詞交換会
- ・役員会、自治会長会議など

## ▶これからのまちづくり

現在、全国的に少子高齢化及び人口減少の波が押し寄せており、藤野地区においても例外ではありません。

藤野地区自治会連合会では、今後も行政や各種団体と連携を図りつつ、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり・地域づくりに努めていくとともに、芸術や文化が息づく藤野地区の魅力を市内外へ積極的に発信していきます。

これからも「住みたい」、「住み続けたい」と常に関われる「藤野」を目指し、自治会員全員で取り組んでいきます。

### 【人口・世帯の状況】

| 年 度    | 世帯数   | 人 口    |
|--------|-------|--------|
| 平成30年度 | 3,247 | 8,839  |
| 平成21年度 | 3,541 | 10,396 |

(出典：月報統計さがみはら)



きれいなまちづくりの日キャンペーン

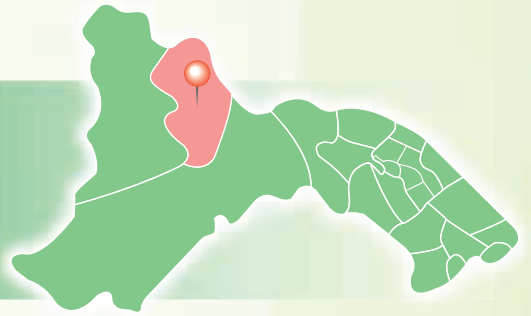


きれいなまちづくりの日キャンペーン



## 相模湖地区自治会連合会

# 歴史情緒あふれる 森と湖のまち相模湖



### 相模湖地区の概要

相模湖地区は、相模原市の北西部に位置する水と緑に囲まれた自然豊かな地域です。1947年に誕生した相模湖は、東京オリンピックのカヌー競技会場、かながわ・ゆめ国体などの各種ボート競技会場として使用されています。

さらに、2020年東京オリンピックではボート競技においてカナダチームの事前キャンプ地となるなど、本市を代表する地域のシンボルとして市民に親しまれています。

また、JR中央本線（相模湖駅）や中央自動車道（相模湖IC）により都心から1時間以内という交通の利便性も高い地域であるとともに、巨大な奇岩奇石が見られる石老山をはじめとするハイキングコースなど豊かな地域資源に恵まれており、古くは甲州道中（旧甲州街道）に栄えた宿場町として、街道には今も歴史の面影が息づいています。そして、敷地45万坪の自然をテーマとした遊園地で多彩なアトラクションが楽しめる「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」があり、相模湖畔では釣りや遊覧船など水辺のレジャーが楽しめる魅力あふれる地域です。



相模湖

### 相模湖地区自治会連合会の概要

2008年に相模原市自治会連合会と統合した相模湖地区自治会連合会は、与瀬・小原地区、千木良地区、内郷地区の3つの地区連合から組織されています。自治会加入率は、市内22地区で上位を維持していますが、地区内人口の減少に伴い、加入世帯数の減少という課題を抱えています。そのような状況の中、相模湖地区自治会連合会では、自治会未加入世帯への戸別訪問や加入促進キャンペーンの実施など自治会加入促進に向けた様々な取り組みを進めるほか、自治会相互の連携や親睦を図るとともに、安全で安心なまち



相模湖ふるさとまつりステージ

づくりを目指し、相模湖ふるさとまつり（11月上旬）や相模湖地区総合防災訓練（11月中旬）の実施など、防犯・交通安全、環境美化、地域福祉活動にも積極的に取り組んでいます。

### 県下唯一現存する小原宿本陣

本陣とは、江戸時代初期、参勤交代がおこなわれるようになって、大名行列をしながら江戸と領国との間を往復するとき、大名が泊まる宿のことを言います。江戸時代に建てられ、甲州道中の宿場本陣として県下唯一現存する小原宿本陣は、入母屋造の豪壮な門構え、入母屋造の建物、14室の部屋などがそのまま残されていて、県の重要文化財、市の景観重要建造物、かながわの建築物100選にも指定されています。

小原地区では、小原宿本陣を地域の大切な資源としてとらえ、甲州街道小原宿本陣祭（大名行列）や、灯りのイベント（本陣や甲州街道沿いを幻想的にライトアップ）などを開催しています。

### 甲州街道小原宿本陣祭 11月3日

小原地区のお祭りである、甲州街道小原宿本陣祭は、2018年で25回目となりました。発足当時は小原自治会という小さな組織が始めた祭典ですが、現在は与瀬・小原地区の自治会や市民の多数の方々の協力を得て実施しています。祭りのハイライトは、大名行列です。小原の郷を出発した大名行列は旗持ちを先頭に、70名の役者が煌びやかな衣装を身に着け、供侍の「したに一、したに一」の合図のもと、国道20号を与瀬方面に歩く姿は豪華絢爛そのものです。行列の出発前と帰着後に行われる小原本陣太鼓と火縄銃の演技は、行列同様に見応えがあります。

小原の郷の芝生周りには出店が多数立ち並び多くの人で賑わいます。駐車場には舞台装置が置かれ、相模湖地区の人々が普段



小原宿本陣の門構え



甲州街道小原宿本陣祭 大名行列



灯りのイベント(小原宿本陣)



から練習を重ねてきた歌や踊り、剣舞の成果を  
発表します。郷の芝生に置かれた椅子やテーブ  
ルは人々の憩いの場所となり、時間の経つのも  
忘れて、一日を過ごすことができます。

2016年の夏には静岡県磐田市の大名行列と共  
に松田町の祭典に招待され、奴の舞を披露し、  
多数の観客の拍手喝采で大変盛り上がりました。

小原地区をはじめ、相模湖地区では、甲州街  
道の遺産の一つとして、また、末永く愛される  
地域の財産として、小原宿本陣を大切にしてい  
ます。

### ▶さまざまなイベント

与瀬神社例大祭（4月中旬）

相模湖やまなみ祭（4月下旬）

相模湖ダム祭（7月中旬）

さがみ湖湖上祭花火大会（8月1日）

相模湖ふれあい広場（10月中旬）

甲州街道小原宿本陣祭（11月3日）

相模湖ふるさとまつり（11月上旬）

さがみ湖やまなみイルミネーション（12月）



小原本陣太鼓



甲州街道小原宿本陣祭 火縄銃

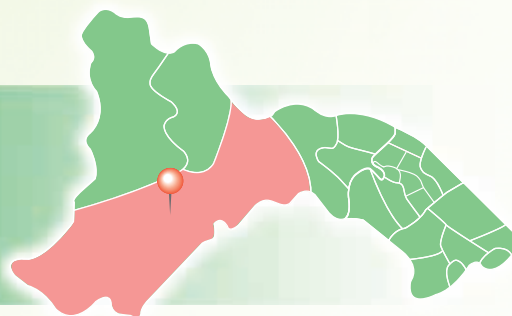


湖上祭花火大会



松田町の祭典に参加

# 防災意識の高揚と 地域防災力強化を推進



### ▶ 津久井地区自治会連合会

私たちの自治会連合会は、平成18年3月20日に相模原市と旧津久井町が合併したことにより、相模原市自治会連合会(以下「市連」)との統合協議を経て平成20年4月1日から市連の構成団体となりました。

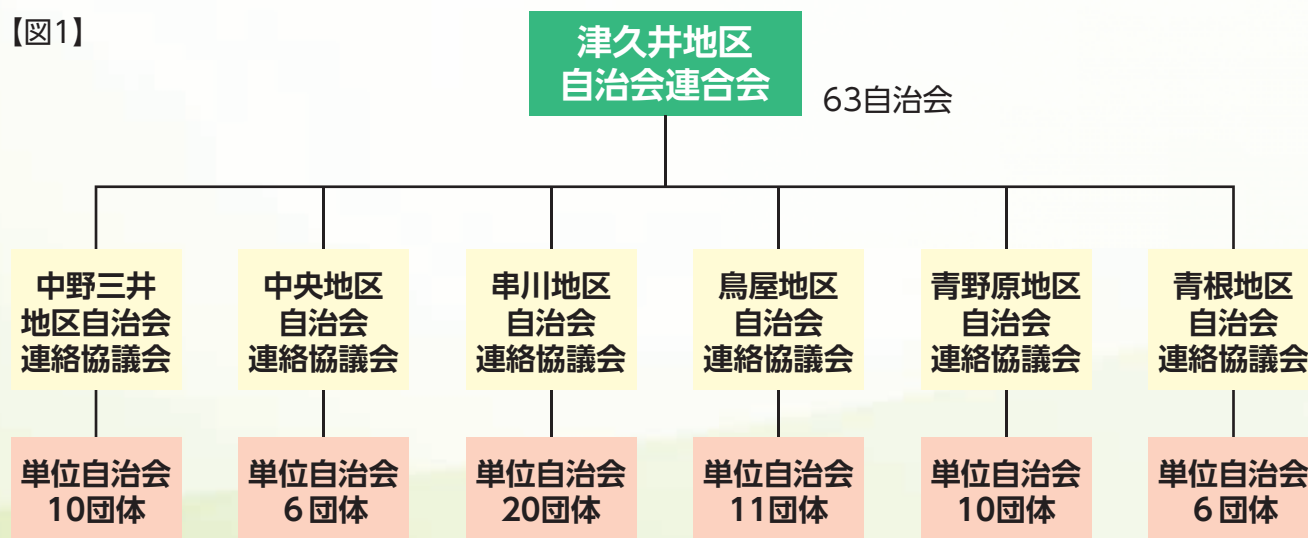
さらに、平成22年4月の政令指定都市への移行に伴い、現在の「津久井地区自治会連合会」(以下「地区連」)に改称されました。

### ▶ 津久井地区自治会連合会の構成

津久井地区は市内22地区の中で最大の63の単位自治会により構成されており、また、122km<sup>2</sup>の広大な面積を持っていることから、地区内を出張所・連絡所の行政単位での6地区に分けて「自治会連絡協議会」を組織し、生活圏域ごとの地域コミュニティの中核として活動しています。

「地区連」は、さらにこの6地区を統括し、津久井地区全体の地域コミュニティを担っています(【図1】参照)。

【図1】





## ▶災害時安否確認のための黄色い小旗事業の継続的推進

黄色い小旗掲示による安否確認事業とは、大地震が発生したときに「わが家は大丈夫。他の人を助けてあげてください」という目印のために、外から見やすい玄関等に黄色い小旗を掲げ、居住者の安否確認を短時間に行えるようにし、被災住民をできるだけ早く救出できるようにしようという取り組みです。

平成24年10月11日、すでに黄色い小旗の掲示を導入していた横須賀市南浦賀自治会に「地区連」として視察研修を行い、推進に当たったの様々なご苦労やアドバイスをいただいてきました。早速、同年11月から実施協力自治会の募集を行い、3ヵ年計画で63自治会の全加入世帯（当時7,704世帯）への小旗の無料配布と掲示訓練の継続的实施を行ってきました。

この取り組みにより、自治会員の防災意識の高揚が図られるとともに、自治会未加入世帯への加入促進が図れればと考えています。



黄色い小旗掲示訓練の様子

## ▶防災カレンダーの自治会加入世帯全戸配布の継続実施

以前は「ひばり放送」が流れるたびに「何の放送か」との問い合わせが頻繁にありました。

そこで、平成27年度（平成28年用カレンダー）からひばり放送のテレホンサービスの番号や防災メールの登録推進、テレビ神奈川のデータ放送、FMさがみの案内などとともに災害用伝言ダイヤルや避難情報の説明を大きく表示したA2判カレンダーを作成し、毎年自治会加入世帯全戸へ無料配布をしています。カレンダーにしたのは、1年間家庭内の目につきやすい所に貼ってもらえ考えたからです。これにより「ひばり放送」に関する問い合わせはほとんど無くなり、防災情報の入手方法などが分かり易く便利だと、自宅の電話のそばに貼っておくことにより防災意識の高揚も図れ、また自治会加入のメリットにもなっています。

津久井地区自治会連合会

### ひばり放送・火災等の情報入手方法

**ひばり放送テレホンサービス**  
☎0180-994-839  
※最新のひばり放送のみ、放送当日限り  
利用には通話料がかかります。

**防災メール**  
登録すれば、ひばり放送とほぼ  
同時に配信されます。  
携帯電話を持っている方は、是非、  
登録しましょう!!

**FM放送83.9MHz (FMさがみ)**  
相模原市のホームページ  
ひばり放送をクリック。

**テレビ神奈川(3ch)でのデータ放送**  
リモコンのdボタンを押して次を選択。  
マイタウン情報 ▶ 防災ひばり放送

**災害用伝言ダイヤル 119**  
大地震が発生したら?むやみに移動せず、状況確認!  
文通機関は通話を中止・交通機関などによる遅しい災害によりたつた人の人が自宅に帰れなくなります。帰りは状況が確認してからにしましょう。

**災害用伝言サービスであなたの安否を伝えよう!**  
地震などの大きな災害が発生したときに、NTT東日本のサービスを利用して自身の安否情報を登録することができます。通話は利用できません。  
1 送信を指示する番号 2 送信を再行する番号  
1 7 1 1 7 1 2 2

**災害用伝言ダイヤルの利用方法について**

| 利用時間         | 利用料金 | 利用回数 |
|--------------|------|------|
| 毎月1日(土) 24時間 | 24時間 | 24時間 |
| 毎月1日(土) 24時間 | 24時間 | 24時間 |
| 毎月1日(土) 24時間 | 24時間 | 24時間 |

**危険性** 避難場所 避難開始 避難終了

**2018 (平成30年)**

| 1月                                                                                  | 2月                                                                                  | 3月                                                                                  | 4月                                                                                  | 5月                                                                                  | 6月                                                                                  | 7月                                                                                  | 8月                                                                                  | 9月                                                                                  | 10月                                                                                 | 11月                                                                                 | 12月                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 |

平成30年版防災カレンダー



## ▶ 防災研修会や防災講演会の継続的な開催

平成24年度から毎年、自治会長・防災部長・自治会員を対象とした防災研修会や防災講演会を開催し、防災に関する知識の修得、防災意識の啓発、避難所の運営や日頃の備えなどについて学んでいます。

特に、平成29年1月21日には津久井中央公民館ホールにおいて、危機管理教育研究所の国崎信江代表から「女性の視点から見た避難所と日頃の備え」をテーマに講演をいただきました。当日は、女性70名を含めた約200名の自治会員が参加し、実例を踏まえた内容に被災の現状の凄まじさを実感できました。



講演を熱心に聴く参加者



熱く語る国崎講師

## ▶ 長竹災害時支援隊の設立（単位自治会における活動事例）

平成20年頃、串川地区の長竹自治会において消防団員が13名から5名に減ってしまったのに伴い、「消防団組織検討委員会」を立ち上げ対策の検討を始めました。特に昼間の消防団員の支援が必要であるとのことから、長竹自治会独自の「災害時支援隊」の設置が必要との結論に至り、平成23年10月に設立しました。

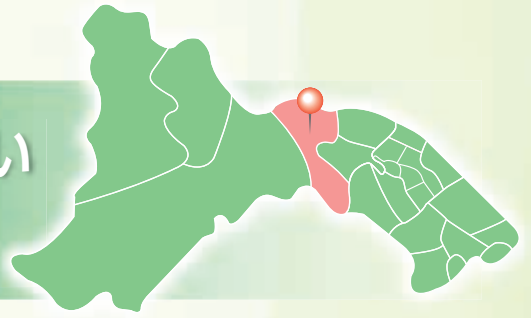
発足当時の隊員は157名（うち女性58名）、平均年齢57歳、入隊式を平成23年10月30日に行い、長竹自治会自主防災部と長竹消防団の支援を目的として活動し、現在隊員は178名まで増えています。自治会の防災部員は2年任期ですが、長竹災害時支援隊員に任期はありません。これにより継続的な任務遂行が可能となっており、地域の防災意識の高揚や災害時要援護者避難支援にも大いに貢献しています。



長竹災害時支援隊入隊式の様子

## 城山地区自治会連合会

住んで良かった、ずっと住み続けたい  
まち城山を目指して



### ▶ 城山地区の概要

城山地区は、相模原市のほぼ中央に位置し、中央から東部にかけては宅地化、大型店の進出が進む一方、北部には高尾山系に連なる山々や城山湖、西部には津久井湖、また南部には相模川が流れるなど、都市化の進む地域と起伏に富んだ自然を有する地域となっております。特に北部の小高い丘陵からは、新宿副都心や東京スカイツリー、横浜ランドマークタワーなどの眺望が素晴らしく、多くの市民の憩いの場となっています。また、南部から北西部にかけて圏央道が走っており、平成27年3月には相模原ICが開設され、さらには津久井広域道路の延伸により、交通の要衝地として重要な地区となっています。

このような魅力あふれる地域資源に恵まれた城山地区の自治会連合会は、12の単位自治会から構成されています。各自治会では、年間を通じて環境美化活動、レクリエーション活動の他、登下校時の児童の見守り活動などの防犯活動も活発に行われています。



金刀比羅宮からの眺望



## 自治会連合会の活動

### ○防災訓練

平成28年9月4日、川尻小学校を会場に相模原市総合防災訓練城山地域会場訓練が実施されました。各自治会から約370名が参加したこの防災訓練では、一時避難場所から避難所となる体育館に入り、避難者名簿の作成や居住スペースを体験するなど、より実践的な訓練を実施しました。

また、連合自主防災隊では、自治会長、防災専門員全員に簡易無線機を配備し、日ごろから通信訓練を行っています。さらに、毎年10月に開催される「城山もみじまつり」の会場では、起震車体験や防災グッズの展示、チラシの配布等による啓発活動も行っています。



防災訓練



起震車体験

### ○地域間交流

地理的に隣接していながら、都県が異なることなどで交流のなかった八王子市の「グリーンヒル寺田団地」や「館ヶ丘団地」との“つながり”を作り、地域の新たな活動展開へとつなげることを目的に、法政大学多摩地域交流センターのコーディネートのもと、地域間交流事業を行いました。3つの地域を点から線へと結び、「大学生たちの活動を通じて」という新しい視点から他地域の暮らし向きや取り組みに触れることにより、改めて自分たちの地域を見直す“再発見”の機会となりました。

### ○移動販売

買物弱者対策事業として、㈱セブンイレブン・ジャパンが実施している移動販売サービス「セブンあんしんお届け便」が、平成29年12月から、城山地区内の中沢・葉山島・若葉台地域で始まりました。神奈川県内で2番目、相模原市内では初の運行ということで、それぞれの地域で週1回、地域の中を6～7か所停車するな



防災啓発



地域間交流



ど、高齢者の方々にも利用しやすくし、新たなコミュニティの場にもなりつつあります。

高齢者の買い物支援は地域課題の1つであり、この課題解決に向け、企業や行政の支援をいただきながら移動販売事業が実施されたことは、誰もが安心して買い物ができる地域づくりの1つになりました。



移動販売

### ▶この先も住み続けたいまち

各自治会では様々な活動を行っていますが、その中でも特に災害への対応は重要と考えています。災害時の要援護者支援については、自治会により取り組み方は異なりますが、相模原市との間で「災害時要援護者避難支援事業に関する協定」を締結するなど、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めています。

最後に、2020年東京オリンピック競技大会の自転車ロードレース競技では、城山地区の一部がコースになり、間近で世界のトップアスリートの熱戦を見ることができます。また、2027年にはリニア中央新幹線が開業（東京名古屋間）する予定です。東京から地下を走行してきた車両が、城山地区の相模川付近で初めて地上を走行すると聞いています。

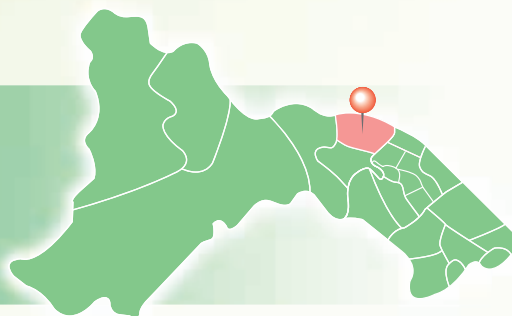
自治会連合会といたしましても、このような機会をとらえながら、魅力あるまちづくりに貢献していきたいと思っています。



城山夏まつり(写真提供:小池久男氏)



# 活力とにぎわいあふれる 交流拠点都市～はしもと～



### ▶橋本地区自治会連合会の概要

橋本地区自治会連合会は、相原連合、橋本連合及び宮上連合の3つの連合から構成されています。これは江戸時代に相原村、橋本村、小山村に分かれていたことに由来するといわれております。

現在の橋本地区の人口は約7万2千人です。全国的に人口減少が進む中であって、リニア中央新幹線新駅の設置など、将来に向けて明るい話題があるためか、今後10年間は更なる増加が見込まれています。

リニア中央新幹線新駅の設置は、地域の活性化や市民の利便性向上などに良い影響を与え、そのメリットは計り知れません。その反面、交通渋滞などの新たな課題が生じる可能性もあります。また、現在においても自治会加入率の低下が課題となる中、都市化によって地域コミュニティ意識の希薄化が更に進み、加入者の減少に拍車がかかってしまう恐れもあります。橋本地区では独自に「自治会加入促進ハンドブック」等を作成し、駅周辺に建設された高層マンションへの入居者等に対して自治会加入を積極的に呼びかけています。しかし現在においても、加入率は決して高くはありません。郷土愛の醸成に更に力をいれていく必要があります。橋本地区自治会連合会では「あいさつ」が地域の



空撮写真(平成26年)

コミュニケーションに欠かせない要素であると考え、「橋本地区朝のあいさつ運動」を実施しています。地域の小中学校の校門前や通学路で通学途中の児童・生徒に対し、自治会員があいさつや声かけを行う活動です。こうした地道な取組が、希薄化した地域コミュニティへの意識を蘇らせ、地域への愛着を醸成すると考えています。

今後も3つの連合が力を合わせて、地域の課題を一つ一つ解決し、首都圏南西部の中核となる都市機能と、住民にとって暮らしやすい地域コミュニティ機能を併せ持つまちづくりを進めていかなければなりません。



相原地区ふるさとまつり



橋本地区朝のあいさつ運動



宮上地区ふるさとまつり



橋本地区ふるさとまつり

## 十年の歩み

この10年間で、橋本地区には大きな変化がありました。都市再生緊急整備地域に指定されていた橋本駅南口の工場跡地には、平成22年（2010）年から23年にかけて大型ショッピングセンターや大型集合住宅などが次々に整備されました。平成25年（2013年）には緑区役所と相模原北メディカルセンターが西橋本の旧国鉄跡地に建設され、橋本パスポートセンターも駅前の商業施設内に開設されたことで、地域住民の利便性は大きく向上しました。2017年にはリニア中央新幹線新駅の工事が着工され、今後更なるまちの発展が期待されます。



## ▶橋本七夕まつり

橋本の七夕まつりは昭和27年（1952年）に商店街関係者が中心となって始めた、市内でも屈指の観光行事です。最近では、商店街だけではなく自治会など様々な団体が関わり、運営を支えています。また、若者たちの積極的な参画は橋本七夕まつりの強みであり、ダンスや大道芸など、多彩なパフォーマンスでイベントを盛り上げています。

## ▶今後の橋本地区 ～リニア中央新幹線開通へ～

直近では、リニア中央新幹線新駅設置のため、現在橋本駅前に位置する相原高校が2019年に旧職業能力開発総合大学校相模原キャンパス跡地に移転し、2020年には、相

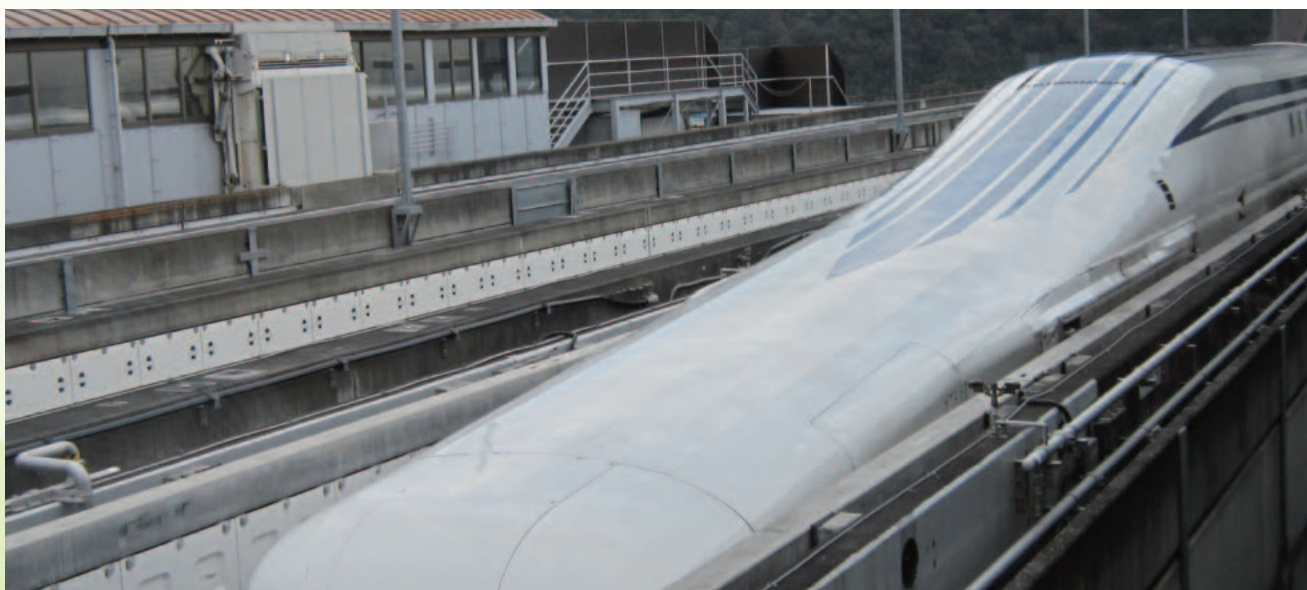
模原協同病院も同跡地に移転する予定です。人の流れが大きく変わることが想定されるため、こうした変化に対応した交通安全や防犯、防災が地域の新たな課題と認識しています。また、人の流れの変化を新たな交通網整備や地域に根ざした商店街への集客につなげていく必要があります。

リニア中央新幹線の工事が進捗するに従って、更なる課題も発生していくことが想定されます。10年先、20年先を見据えて、リニア中央新幹線開通のポテンシャルを生かしたまちづくり、災害に強い、安全・安心なまちづくりに、自治会と商店会などの関係団体が一丸となって取り組んで、地域住民だれもが心豊かに暮らせる街を目指していきたいと思います。

この記録は、“市連のあゆみ”40周年記念誌の「地区の歩み橋本」の続編です。すなわち平成21（2009）年から30年にわたる、橋本地区連の地域発展の概況です。



橋本七夕まつり



リニア実験線

## 大沢地区自治会連合会

# 伝統・文化の息づく 自然と調和したまち『大沢』



### 大沢地区の概要

明治22年の町村制施行の際に、大島村、上九沢村及び下九沢村が合併して大沢村となり、「大沢」という地区名が誕生しました。その後、昭和16年の町村合併、昭和29年の市制施行を経て、平成22年の政令指定都市への移行に伴い、現在は緑区大島、同上九沢、同下九沢及び同田名の4つの大字と、一部中央区の下九沢地番により、大沢地区が構成されています。旧相模原市では西端に位置していましたが、旧津久井郡4町との合併以降は、市のほぼ中央に位置しております。

地区内には、国の登録文化財である旧笹野家住宅、県の無形文化財の指定を受けた下九沢御嶽神社及び大島諏訪明神の獅子舞、さらには、市の登録文化財であるヤツボ等の市内でも有数の文化財が点在しています。また、相模川自然の村公園や相模原北公園のほか、北総合体育館や北の丘センター等の運動施設、相模川清流の里等の宿泊施設も充実しています。

### 大沢地区自治会連合会

大沢地区自治会連合会は、100世帯未満の自治会から1,000世帯に近い自治会の17自治会で構成されておりますが、古くからの伝統を引継いだ活動を行ったり、新しいふれあい活動を行うなど、それぞれが様々な活動を実施しております。



大沢地区自治会連合会総会

### 地域の主な取り組み

#### ○大沢地区合同防災訓練

従前、大沢小学校避難所1箇所自主防災隊、学校避難所運営協議会など防災組織の関連団体が集まり、大沢地区全体で合同防災訓練を実施していましたが、平成21年から同じ日に連合防災隊の指示のもと大沢地区内の4小学校避難所と2中学校避難所の6学校避難所に分かれて合同防災訓練を実施し、より身近で有意義な訓練としています。



大沢地区合同防災訓練



### ○おおさわ桜まつり

おおさわ桜まつりは、相模川に隣接する上大島キャンプ場の桜を楽しむ地域内では最大規模のまつりです。地域住民の親睦のほか文化の向上と相模川自然の村周辺の観光資源の有効活用を目的に開催されています。

平成30年度の桜まつりは第20回目を迎え、節目の記念事業を実施しました。また、おおさわ桜まつりを広く周知することを目的に、市ホームページ「相模原チャンネル」に動画を掲載しています。



おおさわ桜まつり

### ○大沢地区秋まつり

平成20年度に「秋まつり実行委員会」を発足し、それまで出張所が主催する演芸大会と公民館が主催するレクリエーション大会を一体化、地域内の学校の協力を得て、大沢地区秋まつりとして、土曜日に演芸大会、日曜日にレクリエーション大会及び福祉バザーを開催していました。平成28年度からはレクリエーション大会、演芸大会、福祉バザーを同日に開催しております。



大沢秋まつり

### ○コミュニティバス

相模原市コミュニティバス「せせらぎ号」は、大沢地区内の交通不便地区の解消を目的として、平成20年に運行協議会を発足し、大沢地区と橋本駅間の実証運行が開始され、現在に至っております。

「1便あたりの利用者数が10人以上」及び「事業収支比率50%以上」の運行継続条件を満たす為に、運行協議会が主体となり利用を促進する様々な取り組みを行っています。



コミュニティバス「せせらぎ号」

### ○ラジオ体操のまち大沢

「ラジオ体操のまち大沢」は、平成20年の自治会長OBの方や各種団体の代表の方で構成された「大沢を考える会」の提案により、平成21年に運営協議会が発足しました。

地域住民の健康づくりや地域コミュニティの醸成、各種団体間の連携強化等を目的に毎年4月から11月までの第三日曜日の早朝に、大沢地区内の自治会館前広場、公園広場、子供広場及び寺社前広場などの13会場でラジオ体操を行うというものです。現在「ラジオ体操のまち大沢」は、年間累計参加者も4,100人を超える地域の一大イベントとなっております。



ラジオ体操のまち大沢